

現下の雇用失業情勢 - 厳しさを増している -

- 完全失業率は、4.4%（12月）と前月から0.5ポイント上昇し、大幅な悪化。
- 有効求人倍率は、直近のピークの平成19年6月（1.07倍）から0.72倍（12月）まで悪化。
- ハローワークに訪れる**事業主都合離職者**（新規求職者数）は、前年同月比**84.3%の増加**。

- 日銀短観（12月調査）の雇用人員判断（「過剰」-「不足」）は、**全規模製造業で過剰感が大幅に増加**（+3→+14）するとともに、**全規模全産業でも過剰**（-2→+4）に転じた。

- 12月の倒産件数は、前年同月比**24.1%増**の1,362件であった。また、平成20年の上場企業倒産件数は33件となり、戦後最多を更新した。（東京商工リサーチより）

- 雇用保険の**受給資格決定件数**は前年同月比**39.7%（12月）増**、**受給者数**は前年同月比で**9.5%（12月）増**の586千人と、それぞれ大幅に増加。

完全失業率と有効求人倍率の動向

